



取扱説明書

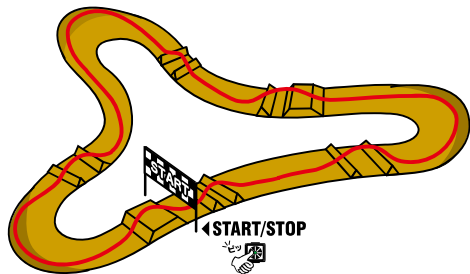
DRC クロスモニター SP1

この度はDRC クロスモニター SP1をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品はモトクロスをはじめ、MTBレースロードレース等“スプリント競技全般”の練習での使用を目的に開発されたストップウォッチです。走行中にライダーが自分自身

で操作し、計測結果を確認することができる様、デザイン致しました。ご使用になる前に下記の内容をよくご覧になり、ライディングのさらなるスキルアップにお役立てください。

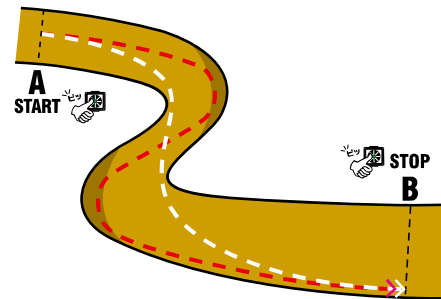


■ LAP-A/Bモード



「LAPモード」は、自ら定めたコース上のポイント（スタート／ゴール）を通過する時に、手元のスイッチを押す事により周回毎のタイムを計測できます。計測結果が15秒間モニターに表示されるため、走行中、直ちにタイムの確認が可能です。計測結果が表示された後は、「LAP-Aモード」では周回毎の計測中のタイム、「LAP-Bモード」では計測開始からのトータルタイムが表示されます。

■ INTモード



「INTモード」は、苦手なコーナー等、ポイントを絞り込み練習する場合に最適な計測モードです。自ら定めた区間（A地点→B地点）の通過時間を計測できます。また、次の計測を開始するまでの間、計測結果をモニターに表示します。計測結果を数値で比較できるので、走行ラインの選定などに活用できます。

D600-001J

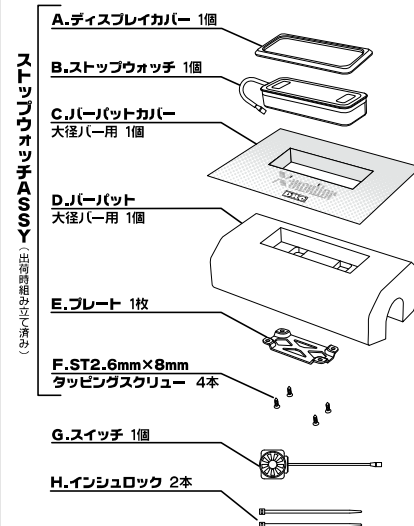


1. 使用上の注意

- ・洗車は、本製品を取り外したうえで行って下さい。
- ・ストップウォッチを高温な場所に長時間放置すると、液晶表示に支障をきたすことがあります。
- ・清掃にシンナー、ベンジン等の有機溶剤を使用しないで下さい。
- ・付属の電池は展示用のため、長期間使えないことがあります。
- ・対応温度は0℃～40℃位です。（低温度時は液晶の反応が鈍くなります。）

2. 各部の名称とセット内容

SP1 モデル286 セット



SP1 モデル222 セット

A. ディスプレイカバー 1個

B. ストップウォッチ 1個

C. バッテリーカバー スタンダード径バー用 1枚

D. バッテリー スタンダード径バー用 1個

E. プレート 1枚

F. ST2.6mm×8mm タッピングスクリュー 4本

G. アンチローテーション 2個

H. M3×5mmスクリュー 2本

I. スイッチ 1個

J. インシュロック 2本

※クロスバーの径がφ12.8mm以下の製品には使用できません。

SP1 ユニバーサル セット

ストップウォッチ 1個

スイッチ 1個

3. リプレースメントパーツ

モデル286用

D60-01-901 #286用(バッテリー)ブラック
D60-01-902 #286用(バッテリー)レッド
D60-01-903 #286用(バッテリー)ブルー
D60-01-906 #286用(バッテリー)オレンジ

モデル222用

D60-01-931 #222用(バッテリー)ブラック
D60-01-932 #222用(バッテリー)レッド
D60-01-933 #222用(バッテリー)ブルー
D60-01-936 #222用(バッテリー)オレンジ

全セット共通

D60-01-999 スイッチASSY

4.取り付け方法

SP1 モデル286

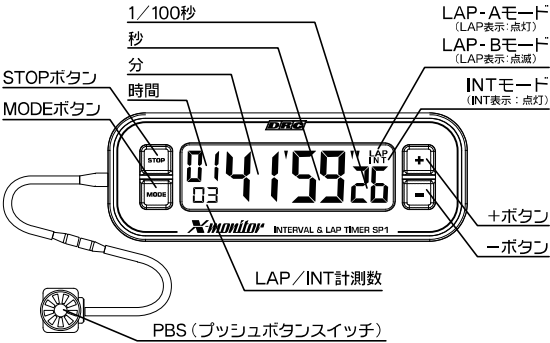
- 1. **ストップウォッチASSY**をハンドル/バークランプにセットし、**C.ハーバットカバー**のベルクロでしっかりと固定します。
- 2. **G.スイッチ**を任意の位置へ取り付けます。
- 3. **ストップウォッチAssy**のケーブルと**G.スイッチ**のケーブルを接続します。
- 4. **H.インシュロック**であまったケーブルをハンドル/バーに固定します。

SP1 モデル222

- 1. **G.アンチローテーション**（2個）をクロスバーにセットし、**H.M3×5mmスクリュー**で仮止めておきます。
- 2. **ストップウォッチAssy**をクロスバーにセットし見やすい角度に調整します。
- 3. 位置を決定し、**ストップウォッチAssy**をクロスバーから取り外し、**H.M3×5mmスクリュー**を本締めし固定します。
- 4. 再度、**ストップウォッチAssy**をクロスバーにセットし、**C.ハーバットカバー**のベルクロでしっかりと固定します。
- 5. **I.スイッチ**を任意の位置へ取り付けます。
- 6. **ストップウォッチAssy**のケーブルと**I.スイッチ**のケーブルを接続します。
- 7. **J.インシュロック**であまったケーブルをハンドル/バーに固定します。

5.使用方法

●各ボタンの名称と画面表示



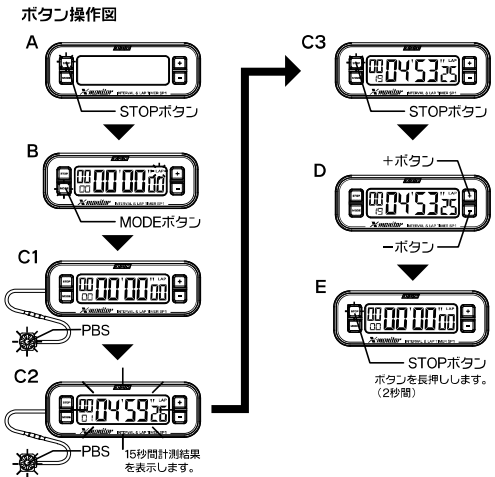
●各ボタンの役割

ボタン	動作	押し時間
STOP	電源ON	0.5s
	計測終了	0.5s
	データリセット	2.0s
PBS	計測開始、中間計測	0.5s
MODE	LAP-A → LAP-B → INT (LAP表示:点灯) → (LAP表示:点滅) → (INT表示:点灯) の順に切替	0.5s
+	計測データ 次	0.5s
-	計測データ 戻	0.5s

●操作手順

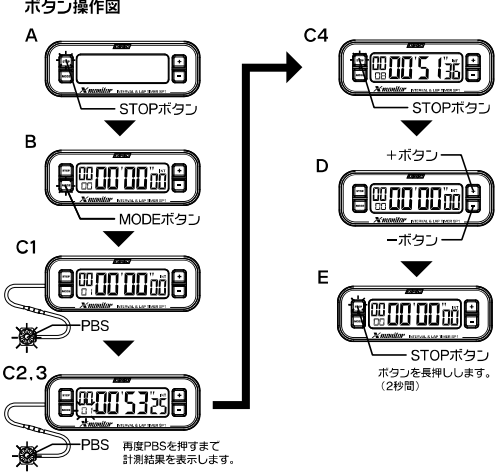
LAP-A / Bモード

- A. 電源の投入**
STOPボタンを押し、電源をONにします。
- B. MODEの選択**
MODEボタンを押し、『LAP-Aモード』もしくは『LAP-Bモード』を選択します。
※ボタンを押す毎にLAP-Aモード（LAP表示:点灯）、LAP-Bモード（LAP表示:点滅）、INTモード（INT表示:点灯）の順に切り替わります。
- C. LAPモード計測**
C1: PBSを押し、初回のLAP計測を開始します。
C2:以降、PBSを押す毎に、一周毎のタイムを記録し、同時に次のLAP計測を開始します。（最大50LAP）
※毎LAPの計測結果が15秒間モニターに表示されます。
C3:STOPボタンを押し、計測を終了します。
※STOPボタンを押した後、計測データの確認が可能になります。
※50LAP目はPBSを押した時点で自動的に計測を終了します。
- D. 計測データの確認**
計測終了後、+ボタン、-ボタンで確認します。
- E. 計測データのリセット**
LAP計測終了後、STOPボタンを2秒間長押しします。
※計測データのリセット後、モード切換と次計測が可能になります。



INTモード

- A. 電源の投入**
STOPボタンを押し、電源をONにします。
- B. MODEの選択**
MODEボタンを押し、『INTモード』を選択します。
※ボタンを押す毎にLAP-Aモード（LAP表示:点灯）、LAP-Bモード（LAP表示:点滅）、INTモード（INT表示:点灯）の順に切り替わります。
- C. INTモード計測**
C1: PBSを押し、初回のINT計測を開始します。
C2:再度、PBSを押し、初回のINT計測を終了します。
C3:以降、PBSを押す毎に計測開始→計測終了を繰り返します。（最大50INT）
※毎INT、次の計測を開始するまでの間、計測結果がモニターに表示されます。
C4:STOPボタンを押し、計測を終了します。
※STOPボタンを押した後、計測データの確認が可能になります。
※50INT目はPBSを押した時点で自動的に計測を終了します。
- D. 計測データの確認**
計測終了後、+ボタン、-ボタンで確認します。
- E. 計測データのリセット**
INT計測終了後、STOPボタンを2秒間長押しします。
※計測データのリセット後、モード切換と次計測が可能になります。



●電源のOFF

- ・計測データのリセット後、STOP、MODE、+、- ボタンを4つ同時に押すと電源OFFになります。
- ・未計測状態で約10分間ボタン入力がないと、自動で電源OFFになります。（電源OFF後も計測データは保持しています。）
- ・計測状態で99h59m59s99までカウントされた場合も自動で電源OFFになります。（電源OFF後も計測データは保持しています。）

●電池交換について

- ① ストップウォッチの背面のネジ6本を緩め、裏ブタを外します。
- ② 基盤のネジ2本を緩め、ボタン電池（CR2032）を取り外します。
- ③ 新品の電池に交換し、再度基盤にネジで固定します。
- ④ バックシンのずれ及びリード線のかみ込みに注意して裏ブタをはめ、ネジを締めます。

